



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■ 創立：昭和54年1月23日 ■ 例会：毎週火曜日 17:30
 ■ 事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■ 例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■ 会長：富川 悟 ■ 副会長：小西敏文 幹事：植村将史



第4回 親睦ゴルフ

会長報告

会長報告に入ります前に訃報でございます。

先週30日（実際には28日ですが、）深澤名誉会員が突然お亡くなりになりまして、30日に葬儀が行われました。4月の花見例会の時には奥さま共々非常に元気なお姿で参加されていた訳ですので、まさかこういったことになるとは、と驚いた次第でございます。大変残念ですが、ご冥福をお祈りしたいと思います。それではここで黙祷を捧げたいと思いますが、その前に、日曜日にお葬式がありまして、土曜日に連絡があった訳ですが、FAX連絡等連絡はしましたが、全員の方に十分に連絡がいったかわかっておりません。届かなかった方は大変申し訳ありませんでした。それではご冥福をお祈りして黙祷を捧げたいと思います。

それでは本日4時からございました理事会について報告させて頂きたいと思っております。本日はたった一点でございます。それは、私共奈良大宮ロータリークラブと海外のクラブとの姉妹提携について協議致しました。この問題はR.I.第5000地区、これはハワイになりますが、ミリラニ・サンライズ・ロータリークラブという所から奈良大宮ロータリークラブと姉妹提携をしませんか、というお話がございます。これについて理事会で協議し、色々な賛否両論がありまして、このそもそもの初めは5年前から第2650地区と第5000地区は地区交流をしており、その一環の中で地区のクラブ同士姉妹提携を結ぶ、という話になっております。それで奈良大宮も5年前にハワイ行きに参加しております。そういった関係がありまして大宮ロータリークラブの姉妹提携に符合していると認められ、今回具体的な案内がありました。それについてどうするか、理事会の中で色々議論をしましたが、決定には至っておりません。そういうことで締結するとこれから先、長年にわたる将来的な問題がございますので、皆さんの総意、クラブの皆さんの意見をお聞きしたいと思います。そういうことで臨時総会を開催致しまして、それによりクラブとしての賛否の方向を採る。そういう形にしたいと思います。臨時総会は6月15日無記名の投票とし、過半数をもって決定いたします。あと二週間ありますので、その間に皆さん色々とお考え頂きたいと思っております。尚、それまでの間（来週になりますが）、6月7日から一週間に渡りまして情報集会が行われます。その席上で色々ご意見を言って頂いて、自分の考えをまとめて頂いて6月15日の臨時総会で決定したいと思います。但し、臨時総会の場に於きましては投票のみで、一切議論は致しません。それによってクラブの方向を決定し、その後理事会でやるか特別委員会でやるか色々な方法があるかと思いますが、その方向に従って動いていきたいと思っておりますので、よろしくご協力頂きたいと思っております。

発行日 / 2010年6月6日
2009-2010 / 44

Vol.31

No. 1509

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009～10年度
第2650地区のテーマ

『育てよう人』

国際ロータリー第2650地区
ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第44回 6月6日
通算1509回

1. 「家族親睦例会」
奈良パークホテル
11:40～

例会状況報告

第43回 6月1日
通算1508回
R.C.は出席から 1508回

● 会員数	70名
● 出席免除者数	21名
● 出席者数	59名
● 補填者数	—
● 出席率	93.6%

1506回の修正

● 会員数	69名
● 出席免除者数	21名
● 出席者数	55名
● 補填者数	2名
● 出席率	90.2%

▼次項へつづく

委員会報告

高辻出席委員長

あと一カ月となりました。欠席された方は是非メーカーの徹底を最後をお願いいたします。

小西クラブ管理・運営委員長

先程富川会長からも話がありましたが、第四回情報集会を7日の週に5回に分けて行いますが、テーマが「今年度を振り返って」とお願いしましたが、先程あったようにもう一つテーマがありまして「海外姉妹クラブとの提携について」ハワイのミリラニ・サンライズロータリークラブとの提携について皆さんに色々意見を出して頂きたいと思います。その辺の説明もごございますから、本日例会終了後、各班長さん（1班小西、2班植村、3班井上さん、4班多田実さん、5班が藤野さん）ちょっと申し訳ございませんが説明したい事がありますので、2階の椅子の所に集まって下さい。よろしくお願い致します。それと、平方君、結婚おめでとございます。因みに奈良ホテルの社長がお見えになってますが、式場は奈良ホテルではなく九州・小倉のサンマルコです。宜しくお願い致します。

次年度会員組織常任委員会委員長・井上会員

次年度会員組織委員長会を例会終了後に行いたいと思いますので、各委員長様はロビーの方へお願いいたします。お名前を申し上げます。会員選考：金星委員長、会員増強：武中委員長、職業分類：多田実委員長、ロータリー情報：多田廣委員長さんです。宜しくお願い致します。

高野社会奉仕委員長

先日5月15日に開催致しました平城遷都1300年記念例会で大変楽しいコンサートをして下さいました荒井敦子さんとまつぼっくり少年少女合唱団から奈良大宮ロータリークラブのみなさまへ、ということで、心温まる色紙を頂戴致しました。回覧させていただきますので、ご覧頂きますようお願い致します。

先日は貴重な経験をさせて頂き、本当に
 ありがとうございます。
 子どもたちの感謝の気持ちを色紙に致しました。
 ご笑納頂ければ幸いです。
 今後とも宜しくお願い致します。
 まつぼっくり少年少女合唱団 同



増井親睦活動委員長

親睦委員会よりご報告とご案内をさせて頂きたいと思います。まずご報告ですが、奈良大宮ロータリークラブ親睦ゴルフコンペ第4・5回が5月28～29日グランデ鳴門C.C.で行われました。初日の優勝者は潮田さん、第5回（二日目）の優勝者は小西さんでした。因みに第5回の最下位は潮田さんでした。大変波乱にとんだ内容でしたが、晴天に恵まれ、ジュニア・シニアに分かれて和気あいあいと団体戦もさせていただきました。私共ジュニアには新兵器が来ましたので、これからはシニアに対しても対抗できるんじゃないかと次年度は楽しい戦いが繰り広げられるのではないかと大変期待しております。参加者の皆様、有り難うございました。また幹事として働いて、最後はバスの運転までして頂いた大塩さん、本当にお疲れさまでした。続きまして親睦委員会最後の仕事です。6月6日のご案内をさせていただきます。11時30分受付開始。例会は11時40分～です。バスが二か所から出ております。状差しに案内文を入れておりますので、また参照して下さい。近鉄奈良駅アーバン銀行前を11時に、学園前南口を11時20分に出発となっております。今回は現在話題沸騰のハワイに関連致しましてハワイアンダンスショー、レッスン、コンテストと盛りだくさん。そして最後には次年度役員発表という盛沢山の内容で開催させていただきますので、皆さま最後の親睦例会に是非ご参加のほど宜しくお願い致します。

植村幹事

先程増井委員長からも案内がありましたが、6月6日が年度末親睦例会です。それ故6月8日は休会となりますので、お間違えのないようお願い致します。それと6月22日、クラブ協議会は年間の反省となっております。いつも通りの形式となりますので、各委員長の方、用意の方、くれぐれも宜しくお願い致します。最後に先程会長からもお話がありましたが、深澤さんの訃報に対しまして出来る限りご連絡をしようと試みましたが行きわたらない所もございました。この場を借りてお詫び申し上げます。

◆おわりに・ロータリー力

これまでクラブの歴史、むかし話をしてきましたが、最後は将来のことを考えてみます。このクラブの将来にとって、最も大事なことは、人を育てる事だと思います。ロータリーを知る最も良い方法は、役割を分担することです。「立場は人を育てる」このクラブには有能で、魅力的な人材が大勢おられます。その方達に機会をつくって、ロータリーを学んでもらうように出来ればと思います。会員一人ひとりの「ロータリー力」を高める事が、クラブの総合的な力・「ロータリー力」を高める事になり、魅力的で、品格のあるクラブづくりに役立つものだと考えます。

「手続要覧」に、「クラブの理事会と役員を選出の手続きについて、会長および幹事の職はもとより、理事、委員長の職も代わり代わりに、就任するという原型を守ることができれば、クラブにとって最善である」同じような役割を続けたい、この持ち回りのルール・考え方をよく理解しておきたいと思えます。

このシリーズの第一回は「ロータリーを知る」で始まりまし。ロータリーを知る事は必要ですが、それだけでは十分ではありません。最終回は「ロータリーを知る」だけでははく、ロータリー活動に参加することの大切さについての、緒方先生のインフォメーションの一部を紹介します。ジョージ・ミンズ（元R.I.事務総長）：「ロータリーの文献の知識なしにロータリーを知ろうとするのは、海図なくして公開をするのに等しい。しかし、ロータリーの文献を読みながら奉仕活動に直接参加することをしないならば、それは、全然海へ行かないのと同じである」（昭和54年2月7日）緒方先生にはたくさんの事を教えていただきました。ロータリーの初心を思い出し、その一端を皆様にお伝えするのも、古い会員の仕事ではないかと考えました。緒方先生の考えておられたロータリーをどれだけ理解でき、伝えられたかは甚だ心もとないものがあります。古き良きロータリーへの「ノスタルジー」のようなところがあったかも知れませんが、「昔を知ることは、未来を考える事」先人たちに托された志を大切に、魅力のあるクラブを作っていくのが我々の務めではないかと思えます。

このクラブを作り、育ててくれた先人達に感謝し、これからのロータリーと奈良大宮クラブの成長を楽しみにして、このシリーズを終わります。

最後に、この機会を作って頂いた富川会長、植村幹事さん、週報の担当者に感謝致します。長い間ご静聴ありがとうございました。



写真：創立総会後にスポンサークラブにお礼の挨拶。
(昭和54年1月25日)
杉山嘉一ガバナー、植田喜三郎奈良クラブ会長、
綿谷安弘奈良大宮クラブ副会長

新入会員入会式



小西副会長より紹介

昭和39年生まれの45歳で、(株)デンソーを経て現在は(株)テレ・アンド・テクノミヤコ、所謂携帯電話のお店で奈良県下の直営店で5店舗、二次店の2店舗、合計7店舗を運営されておられます。彼はまた奈良市立明治小学校のPTA会長を4年間、都南中学校にて都南会会長を3年間務められております。実は私とは優法会で知り合

いになりまして、ロータリークラブに入会しているか尋ねたところまだだということだったので、そうしたら奈良大宮ロータリークラブは奈良県下で一番良いクラブだからということで、無理やり入会してもらったような感じでございます。何せこの奈良大宮ロータリークラブにはゴルフの好きな人、またゴルフの上手な人がたくさんおられますが、彼は正真正銘の信楽C.C.のハンデ7という腕でございまして、これから彼はクラブでは要注意というか、今までクラブで4回ゴルフしたら3回位は武藤さんが優勝しておりましたけれど、その武藤さんもおちおちできないのではないかと思います。これからも宜しく願います。

小川成久会員より挨拶

みなさんこんばんは。只今ご紹介にあずかりました(株)テレ・アンド・テクノミヤコの小川と申します。先程小西さんからお話がありましたように、半強制的に入会させて頂きました。この伝統ある大宮ロータリークラブに入会させて頂くことになりました。これも一つの皆さんと出会うきっかけかな、と思えます。入った限り誠心誠意尽くさせて頂きまして皆さんと調和がとれるように、また色々なお勉強をさせて頂きますようお願い致します。今後とも宜しく願います。

委嘱状

2010-2011年度国際ロータリー第2650地区
栗田幸雄ガバナーエレクトより

・潮田 悦男 君 (財団地区事業委員会委員)

ご結婚祝

・平方 貴之 君 (ご本人)



本日のお客様

・橋 幸之助 様 (奈良RC)

次週の例会

6月15日

卓話 テーマ 「これからのものづくり」

財団法人 南都経済センター理事長

奥村 隆司 様

○奈良県の現状

現状は、高井県外就業者比率（県内就業者比率約71%47位）、低い県内消費率（H19：84.1%46位）、また、豊かな歴史文化資源の活用が不十分であるため、観光客数が低迷（H19→3,700万人 H20→3,579万人→目標4,000万人）するとともに、宿泊客（宿泊施設45位、宿泊施設宿泊者数47位）が少ない

○県庁が自ら率先して行うこと（行財政運営の基本方針）

持続可能な財政運営を維持しつつ、直面する県政諸課題に積極果敢に取り組む。

（そのために県庁は） 「県の取組の5つのポイント」

<発信力>

県の考えや方針をタイムリーに示し、県民の皆様幅広くご理解いただくと同時に寄せられたご意見を施策に反映

<創造力>

県庁職員各々が千恵を絞り、県民ニーズを踏まえた効果のあるオリジナルな施策の実現に努める

<県庁力>

「県民は上司」との意識のもと、奈良県のため、地域のため、県庁が率先垂範して心を込めて行動

<連携力>

市町村、企業・NPO、地域で活動されている方々等とのさらなる協働・連携に努め、効果的に施策を推進

<継続力>

各種指標による現状分析やニーズの把握に努め、施策・事業を客観的に評価し、これらを次年度に活かす行財政運営のマネジメントサイクルの取組を推進

○県政の目指す姿

「県外で働き、県外で消費する」から「奈良で暮らし、奈良で働く」へ転換を図る。また、県民のだれもが、「奈良はよくなった」「安心して心地よいところ」と実感し、来訪者が、何度でも訪れたいと感じる魅力的な奈良を創造することを目指す。

厳しい経済情勢の中、地域の自立を実現するには、税財政基盤の確立が不可欠であり、そのためには、本件の豊かな分化遺産等を活用し、「経済活性化」を図ることが必要。

また県民の安全・安心を確保し、将来の発展基盤を確立するためには、医療や福祉等を充実させ、「くらしの向上」を実現することが必要。

○5つの構想案

「構想案」は、「奈良の未来を創る」ため、（仮称）ポスト1300年祭、（仮称）ポストベッドタウン奈良、（仮称）健やかに生きる、（仮称）奈良に暮らす、（仮称）南部を元気にする、という5つの課題分野において、奈良県がこのように向かえばいいという願いをまとめ、構想段階で示したもの。

それぞれの構想案は、まだ途中の段階であり、具現化するためにさらなる見当が必要なものや、検討が進み「計画・実行」の一手手前のもの、実現にむけた調査等をH22年度当初予算に盛りこんでいるものまで、一つのパッケージとして示すことにより、県民の方々に具体的な「奈良の未来」を思い描いていただけるとともに、「県民との共通の願」となり、実現に近づくと考えている。

○主な政策集

「主な政策集」は、昨年の夏以降、町内でテーマを決めて議論してきた今後取り組むべき15の主な政策について、「目指す姿」「目標」を明示するとともに、「目指す姿の実現に向けた戦略」と「戦略目標」、新年度予算に盛り込んだものも含んだ「今後数年間の具体的取組」とその「工程」などをとりまとめたもの。

「主な政策集」に盛り込まれた各種の政策を着実にじこくすることにより、「奈良で暮らし、奈良で働く」「奈良を訪れ、奈良を楽しむ」という「奈良の未来」を創っていく。

○行財政運営プラン2010

平成22年度においては、引き続き「経済活性化」と「くらしの向上」を2本の柱として、8つの政策課題に重点的に取り組むこととし、これらを支える「効率的・効果的な基盤整備」、「協働の推進及び市町村の支援」、「行政運営の効率化と財政の健全化」という3つの基盤的な取り組みにより、この2本柱を支える。

あわせて「中南和・東部地域の復興」にも取り組み「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを目指す。

○5つの構想案、主な政策集、行財政運営プラン2010の関係整理

5つの構想案は「したいこと」

・実現したいことをまとめたもの

主な政策集は、「今後数年間にすること」

・具体的な目標、戦略、工程などをまとめたもの

行財政運営プラン2010は、「直ぐやること」

・今年度に重点的に取り組むことをまとめたもの

○県のマネジメント

「経済活性化」や「くらしの向上」の視点から、将来の県勢発展に向けた施策を実現するため、これまでの件の取組による成果の検証を徹底しつつ、県民ニーズを踏まえた真に有効な施策の実現に努めていく必要がある。

そのために、各種指標による現状分析や取組の評価、これらを支えた適切な指標による具体的な目標設定などを予算編成や事業の執行に的確に反映していくというマネジメントサイクルの取組が必要。



メントサイクルの取組が必要。

平成22年度の流れは、

- 5月～7月 政策課題の評価・分析 (Check)
- 8月～11月 政策課題の方向性を整理・検討 (Action)
- 11月～12月 政策課題を再整理 (Plan)
- 4月～ 政策体系に基づき事業執行 (Do)

5つの構想案について、テーマ別会議、夏期討論、政策検討会議における町内の議論を通して具現化する。

このようなPDCAのサイクル思考の行政運営は始めてから3年目のため、その意義についての意識付け、時系列的な分析など不十分、あるいは慣れない面があるが、今後とも、このようなサイクルを繰り返して続けていくことにより県勢発展に向けた必要な施策の実現を、段階的、効果的に、また方向を間違えずに図っていく。

○ 「主な政策集」に盛り込まれた政策の紹介（観光及び協働の推進）

<観光県としての魅力の強化>

現状 ■ 3つの世界遺産、多数の国宝など、日本を代表する文化財と豊富な歴史的資源に恵まれている。

(国宝数：H21年 全国第3位)

■ 「宿泊者数」「客室数」は全国最下位 (H20年度)

■ 来訪者数が、春、秋の観光シーズンに偏っている

- 戦略
- ① 奈良公園・周辺整備、職の魅力化、中南和の魅力振興、明日香村をはじめとする奈良全体の歴史展示の推進など「"巡る奈良"をテーマに周遊型観光地としての魅力を高める」
 - ② 首都圏や各種メディアを通じた情報発信、ビジットならキャンペーンによる外国人観光客誘致、記紀・万葉集関連事業の展開など「奥深い奈良の魅力を効果的に発信」
 - ③ シルクロード交流館リニューアルによるコンベンションの誘致促進、なら瑠璃絵、なら燈火会などオフシーズン魅力対策イベントの実施など「オフシーズンを解消し、通年型観光地をめざす」

(参考)

目標：H24年度までに観光客入込客数 4,000万人 外国人観光客数 100万人

課題：観光地としての魅力づくり 滞在型観光への促進～中南和への誘客～

オフシーズン対策 効果的な情報発信

これまでの成果：◆ H20年の観光客数は3,579万人でH19年に比べ48万9千人の増

◆ H20年の宿泊者数は350万5千人でH19年に比べ8万6千人の増

<協働の推進>

現状 ■ ボランティア、自治会活動への参加率の低下

■ 「老人クラブ」「婦人会」「子ども会」等の地域組織の会員数は減少傾向

■ NPO法人の設立数は順調に増加 (NPO法人認証数 H11年度末：14法人→H20年度末：359法人)

戦略 ① 奈良ボランティアネットを中心とした活動者ネットワークの構築、まちづくり・学校ボランティアなど地域でのボランティア活動の促進など「県民の地域活動、ボランティア・NPOへの参加を促進」

② 支援基金の創設、活動拠点の整備、マネジメントセミナーの実施によるNPOの運営力向上支援など「地域団体やボランティア・NPOの団体の活動を支援」

③ 協働窓口の一本化、県として取り組むべき個別協働プロジェクトの推進など「県が率先して協働の取組を実践または支援」

(参考)

目標：地域貢献活動に取り組む県民を増加 地域貢献活動に取り組む団体を増加

地域貢献活動を行う団体が協働して地域貢献に取り組む事業を増加

課題：ボランティア、自治会活動への参加率低下 地域活動団体の活動低下

単独の地域貢献活動団体による課題解決の困難性

これまでの成果：◆ NPO法人認証数 H20年度末：359法人

◆ 行政とNPOの協働事業数 H20年度：494事業

◆ ボランティアネットアクセス数 H20年度：244,709件

親睦ゴルフ

第4回 5月28日(金) グランディ鳴門ゴルフクラブ

第5回 5月29日(土) グランディ鳴門ゴルフクラブ



第4回親睦ゴルフ
優勝 潮田さん

第5回親睦ゴルフ
優勝 小西さん



ニコニコ箱 本日計 38,000円 累計 2,650,500円

- 麴谷 滌 君** 今日6月1日は、写真の日です。写真の歴史は、まだ、170年程です。フィルムができ、カラー化され、人々が日常的に写真を撮りだしたのはほんの50年程でしょう。今では化学から電子の領域になりました。
- 松岡弘樹 君** ちょっとうれしい事がありました。気分は"ニコニコ"です。
- 橋本和典 君** 北河原様 晋山式おめでとうございます。そして有難うございました。220代の時の連年りの素晴らしさと共に大仏様の偉大さに圧倒されました。日本人で良かった！
- 平野貞治 君** 親睦委員会の皆様、鳴門でのゴルフ大変お世話になり有難うございました。晴天にめぐまれ楽しいゴルフでした。
- 小西敏文 君** 小川成久さん入会おめでとうございます。今後共長いつきあいが出来ます様に。
- 谷川千代則君** 結婚記念のお祝いありがとうございました。
- 富川 悟 君** 会長の任期もあと一ヶ月、もう終わりかと、残念なような、うれしいような。ニコニコ
- 森下泰行 君** ニコニコに協力
- 野上利樹 君** ニコニコに協力！
- 有井邦夫 君** ニコニコに協力